

第 1 回 栗東市子ども・子育て会議 会議録要旨

日時・場所	令和元年 5 月 28 日（火） 午後 6 時 30 分～午後 8 時 30 分 栗東市危機管理センター 3 階大研修室（2）
出席委員	神田萌子委員、武村貴菜委員、茨木知佳委員、萩原雅人委員、清水久輝委員、神門則子委員、山本喜美委員、木築野百合委員、寺井利彦委員、國松芳子委員、柴田美知代委員（会長）、井上和子委員（副会長）、柏川敏子委員、北村一子委員、明田弘美委員、岸本祐子委員
欠席委員	菱田苗里委員
事務局	子ども・健康部長、子ども・健康部次長、幼児課参事、幼児課課長補佐、健康増進課長、子育て応援課長、子育て応援課子育て支援係長、子育て応援課子育て支援係担当、計画策定業務委託事業者
事 項	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 市民憲章唱和 3 委嘱状交付 4 挨拶 5 委員及び事務局職員紹介 6 会長及び副会長の選出 7 議事 <ol style="list-style-type: none"> （1）子ども・子育て支援新制度等について【資料 1】 （2）事業計画に基づく令和元年度の取り組みについて【資料 2】 （3）第 2 期栗東市子ども・子育て支援事業計画策定にかかるニーズ調査結果について （4）第 2 期栗東市子ども・子育て支援事業計画の策定について【資料 3】 8 その他 9 閉会

1 開会

2 市民憲章唱和

3 委嘱状交付

- ・それぞれの机の上に委嘱状を交付した。（任期は令和 3 年 3 月 31 日まで）

4 挨拶

- ・市長が挨拶を行った。

5 委員及び事務局職員紹介

- ・委員及び事務局職員が順に自己紹介を行った。

6 会長及び副会長の選出

- ・委員の互選により、会長に柴田美知代委員、副会長に井上和子委員の就任が決まった。
- ・会長、副会長が挨拶を行った。
- ・市長が公務のため退席した。

- ・事務局より委員17名中16名の出席により定足数を満たしているため、会議が成立することを報告した。
- ・事務局より傍聴希望者がいなかったことを報告した。

7 議事

- ・委員より、本日の議事のうち非公開とすべき事項がある旨の意見がなかったことから、本日の会議はすべて公開となった。

(議事1)

子ども・子育て支援新制度等について【資料1】

- ・事務局が資料の説明を行った。

(議事2)

事業計画に基づく令和元年度の取り組みについて【資料2】

- ・事務局が資料の説明を行った。

- | | |
|-----|---|
| 委員 | 少子高齢化と言われるが、栗東市の子ども数は増加しているのか。子育てを他に委ねる人の割合が上がっているように感じるがどうか。 |
| 事務局 | 平成30年4月の0歳から5歳児までの人数は4,716人で、平成31年4月では4,688人なので若干減っている。しかし、保育園の入園申込者数は昨年より76人増加している。就労される方が増えており、保育園利用のニーズが増えていると考えている。以前は、3歳くらいまでは自宅でみていたが、最近は0歳から保育園に預けて働こうという方が増えている傾向がある。 |
| 委員 | それは、若年層の経済的なことが理由なのか、自分で子育てをすることに負担を感じていることが理由なのかどちらか。 |
| 事務局 | 入園申込時には就労証明書をつけていただいているので、働きたいという意向が強いと思う。しかし、自分で子育てをすることが大変という相談も受けている。どちらも理由としてあると思うが、就労される方が増えていると感じる。女性の就労についてはM字カーブになる傾向があるが、滋賀県では比較的そのM字の落ち込みが少ない。 |
| 委員 | 治田学区の人口が増えているので、治田学区の3歳児が全員、治田東幼稚園に入園したと聞いているが、他の学区でもそういったことがあるのか。 |
| 事務局 | また、その場合、親の送迎の負担があると思うがどう考えているのか。
治田学区は大きな宅地開発で急激に人口が増えている。100人単位で増えている自治会もあり、子どもの人数も増えている。小学校への入学を見込んで幼稚園では5歳児を優先してクラス編成している。4歳児、5歳児で施設の許容量を超えるので、3歳児については大半の方が治田東幼稚園に通っていただいている。通常は、徒歩か自転車での送迎をお願いしているが、そういった方は徒歩か自転車での送迎は難しいので、周辺の駐車場を確保して、車での送迎ができるようにしている。今のところ送迎についての苦情はいただいている。他の学区については、すべて受け入れができています。 |
| 委員 | 兄弟姉妹がおられる3歳児はどうなるのか。 |
| 事務局 | 個別に相談し、家庭の事情にあわせて対応している。就学前の5歳児は治田幼稚園、3歳児は治田東幼稚園に通っていただいている家庭もあれば、3歳児、4歳児ともに治田東幼稚園に通っていただいている家庭もある。 |

(議事 3)

第 2 期栗東市子ども・子育て支援事業計画策定にかかるニーズ調査結果について

- ・事務局が「栗東市子ども・子育て支援に関するニーズ調査結果報告書 概要版」に基づき説明を行った。

(議事 4)

第 2 期栗東市子ども・子育て支援事業計画の策定について【資料 3】

- ・事務局が資料の説明を行なった。

- | | |
|-------|---|
| 委 員 | 報告書の 14 ページに、小学生の放課後の過ごし方について、児童館を利用するという方がおられるが、学童保育を児童館で行っているところもあると聞いている。個人で児童館に来る子と、学童保育として来ている子との間でのトラブルはないのか。 |
| 事 務 局 | 学童保育の利用者が多いため既存の学童保育所のスペースで対応できない場合は児童館を利用して保育をしている状況である。学童保育で児童館を利用する場合は、利用する部屋を決め、指導員もついている。これまでにトラブルがあったとは聞いていない。 |
| 委 員 | 児童館は週に 2 回の開館だが、学童保育は毎日されている。どうしているのか。 |
| 事 務 局 | 児童館が閉館している 3 日間も学童保育として利用している。しかし、利用する場所は児童館が開館している日と変わらない。 |
| 委 員 | 学童保育は学区ごとにあるという前提だが、大宝こだまクラブが治田西小学校区と大宝小学校区に、こだまクラブが大宝小学校区と大宝東小学校区にそれぞれ記載があるが、学区を超えて学童保育所に通っているということか。 |
| 事 務 局 | 栗東市立の学童保育所は各小学校区に設置している。こだまクラブと大宝こだまクラブは社会福祉法人が実施する市が委託している学童保育所であり、市内で学童保育のニーズが高まっているところの受け皿になっていたため生まれたものである。こだまクラブは大宝東小学校区にあり、大宝東小学校区と大宝小学校区の児童が通っている。また、大宝こだまクラブは大宝小学校区にあり、治田西小学校区と大宝小学校区の児童が通っている。学区はまたいでいるが、小学校から学童保育所までは指導員が付き添うことで対応している。 |

8 その他

次回の会議日程について

- ・次回の会議は、7 月 30 日（火）午後 6 時 30 分から市役所の会議室で開催する。

認定子ども園検討にかかる部会について

- ・保育ニーズに対応するため、これからの施設のあり方を検討する必要がある。検討にあたり、委員の皆様の中から何名かのご意見をいただきたいと考えている。

9 閉会

- ・部長が挨拶を行った。

以上